

令和 7 年度

事業報告(案)

社会福祉法人白老宏友会

指定障がい福祉サービス事業
多機能型事業所 ポプリ

合 命 下 羊 更

事 業 遊 音 (案)

掛 會 謝 將 人 白 承 式 會

謝 會 將 遊 せ ころ 入 業 業

全 對 謝 堅 事 業 所 以 以

目 次

I、総 括	1
II、就労継続支援B型事業	2～3
III、生活介護事業	4～5
IV、日常生活支援	5～6
V、健康管理	7
VI、給食業務	7
VII、管理業務	7～8
VIII、利用関係状況報告	9
添付資料 年間活動一覧	10～11

I 総 括

令和 7 年度も利用者一人の尊厳と自立支援を基本理念として、安全・安心なサービス提供に努めるとともに、地域との連携強化及び支援の質の向上に取り組んだ一年であった。

混沌とした社会情勢も依然継続しており、紛争拡大、燃料高騰、気候変動等の影響を受けて、物価高騰が留まることを知らず、食材関係も間接的な影響を受けて原料等軒並値上げ傾向にあり、今後さらなる値上げに対応すべく、出来る方法を用いて備えなければならない状況になっている。社会情勢の影響がすでに私生活に影響を及ぼすフェーズに入っており、コロナウィルス、紛争、エネルギー問題、気候変動（温暖化）等、私たちの生活に直接的な影響を及ぼし、長期化すれば更なる負担のしかかることも安易に想像できる段階に入ったため敏感に社会動向を注視していく。

社会情勢の影響も受けて、最低賃金の上昇等、賃上げを加速すべく、賃金改定を行い対応しているが、1 年間の運営状況を俯瞰しながら今後も適宜対応していく必要がある。令和 8 年度においても更なる賃上げ傾向にあることも予測できることから、そうした背景を踏まえ事業展開をイメージしていく。

事業収入については、前年度並みの利用率を維持。就労事業については、前年度程度の実績を収め、障がい福祉サービス等収入は 175,616,296 円となり、当初予算を収めることが出来た。就労支援事業収益については 96,041,652 円で、前年比より 470 万円減収となる。売り上げは減収となるが、資材等物価高騰のさなかでも、一定の売上を確保し、利用者工賃を維持、常にクオリティの高い商品提供を目指し取り組む姿勢も見られた。

利用者支援については、一人ひとりの意思を尊重した主体的な活動を促進。特に意思表示が困難な重度知的障がいや、自閉症スペクトラム障がいを抱える方には、個別支援を通じて可能な限り潜在能力を引き出し意思決定支援を行うことで、自己選択による充実した生活環境の構築に努めた。

令和 7 年度は経済成長率の低下等の影響により引き続き円安が進み、インバウンド消費が拡充、白老町においても客層に変化が見られ、大阪万博が閉幕し、国内外からの観光客の姿が多く見られた。一方ウポポイの入館者数は減少傾向にあり、物価高が続く中、製品価格の見直しや販売戦略の強化に努め、職員全体の連携と努力で、現状を維持しており、今後さらに物価高騰が長期化すれば、収益率が下がることも予測できる。

清掃事業においては、公共の施設内での活動ということもあり、感染予防対策に留意し取り組んできた他、給食事業を含む食品事業については日常的に衛生管理や食中毒防止対策に注力。月額平均工賃については 50,747 円を支給することが出来た。

生活介護については、個別支援の推進を課題に療育、創作活動を基本に実施、従来の活動に加え、令和 7 年度においても心身の安定を目的に、視聴覚要因を考慮した活動環境の整備を行い、生産活動では、自家焙煎珈琲豆の売上向上を目的にドリップ式バッグの販売を開始した他、利用者が描いた絵画を活用したアート製品としてTシャツ、トートバッグの販売を継続。障がい程度に関わらず、幅広い利用者が創作活動を通じて社会参加を促した。就労事業収入については当初予算 480 万円に対し、4,723,276 円の売上実績を収め、概ね達成し、月額平均工賃 9,171 円を支給することが出来た。

特定外国人の採用後初めて介護福祉士国家試験に臨み、1 名が合格。当初は困難な状況であると見込んだが、国家試験対策として、日々の学習、模擬試験の実施等取り組み一定の有効性が示唆された。今後の外国人の育成についても指導体制を充実させマンパワーの確保及び安定化を図っていく。

職員の研修については、虐待事例に基づいて定期的な防止対策や、適宜変わりゆく福祉制度等、支援会議にて周知し、個人の課題について、人事考課等を通じて人材育成強化を図った。目まぐるしく変化する社会情勢に適応するため、職員の考え方も柔軟に物事をとらえる必要性や、地域に根差した施設づくりを目指すのであれば、広い視野を持ち、様々な知識を吸収しながら、社会・地域に適応したマンパワーを育成していく必要がある。

Ⅱ、就労継続支援B型事業

■就労事業概要

令和7年度は、ポプリ開設25周年という節目の年を迎え、記念行事や模擬店の開催を通じて利用者、保護者、そして町民の皆様へ感謝を伝えるとともに、記念行事の一環として宿泊を伴う視察研修を実施し、利用者の就労意欲やモチベーションの向上に繋げた。

社会情勢としては、長引く物価高騰や食材費の上昇といった厳しい環境下において、コスト削減に努めるとともに「ななかまど・イレンカ」両店舗で商品の値上げを実施するなどの対応を行った。また、新規オンラインショップの開設や新商品の開発、イベント等の積極的な参加を通じて、収益確保と工賃水準の安定・向上に努めた。結果、就労事業収入実績は96,041,652円、平均工賃額は50,747円（前年度50,156円：591円の増額）を達成することができた。

■食品事業

令和7年度においてもお客様に愛される店舗づくりを課題（クオリティの高い製品作りと安心な製品提供）に、毎月一回の就労会議を開催し、課題（店舗販売、製造、衛生管理、健康管理など）の振り返りや売上状況などを把握し、全体で共有を図りながら意識を高めてきた。また、安全に事業運営ができるよう、HACCPの考えに基づいた衛生管理の実施と、外部委託（株式会社ダスキン）による衛生検査を8月と1月に行い、衛生状況の把握と改善に努めた。

【ポプリパン工場】（製造部門）

5月のよもぎ採取や「北海道応援トドック」との継続取引など、安定した製造活動を維持した。さらに、愛泉園で栽培したカシスを使用したパウンドケーキやクリームパンの商品開発を行い「ななかまど」で販売したほか、「イレンカ」への焼き菓子やアップルパイの製品提供を通じ、販売部門のバックアップを行った。新たな試みであった「切り餅の常温真空包装販売」については、雑菌繁殖の問題から断念したものの、年末餅事業において「冷凍での切り餅販売」へと柔軟に方針を転換し販売を行った。また、「チャレンジドカップ」本選に3名の利用者が出場し、審査員特別賞を受賞するという快挙を成し遂げた実績は、利用者の大きな自信に繋がっただけでなく、事業所全体のモチベーション向上と技術力のアピールに大きく貢献することができた。

【ベーカリーショップななかまど】（販売部門）

製品値上げの実施により、売上の落ち込みを防ぎ、引き続き多くのお客様が足を運んでいただけるよう、多彩な企画の実施や広報活動を展開した。

4月には世界自閉症啓発デーのキャンペーン「ライト・イット・ブルー」に合わせて、テーマカラーの青いアイテムを身に付けたお客様へ割引を行う独自の取り組みを実施し、その後も年間を通じて各種フェアや周年セールを開催した。広報面においては、UHB「みんなのテレビ」の取材や11万再生を記録したInstagramへの投稿を通じて認知度が向上した。更に懸案であったオンラインショップの開設を実現した他、スポーツ大会や三井アウトレットパークなどの外部イベントにも積極的に参加し、各所で確実な売上確保に努めた。

【sweetscafé ななかまどイレンカ】（販売部門）

イレンカでは、ウポポイの来場者動向を見据えた商品開発に注力をした。4種類の「ご褒美ソフト」や「ガリショコソフト」に加え、法人内事業所「みらいえ」のジェラートとパン工場のプリオッシュ生地を組み合わせたコラボ製品「プリオッシュジェラート」を新たに販売した。このような付加価値

のある商品展開が観光客層のニーズに合致し、11月のウポポイ無料開放日においては過去最高レベルとなる売上（1日当たり約95万円～116万円）を記録する大きな成果を上げた。

【給食事業】

給食事業においては、長引く物価高騰と食材費上昇に伴い、水道光熱費の節約や日々の献立の工夫、仕入れ内容の見直しを行い、可能な限り手作りを取り入れることでコスト削減に努めた。個別の食事制限やアレルギーへの対応を行うとともに、利用者の親睦やモチベーション維持を目的に、BBQや流しそうめんといった行事食を実施し、サービスの質の向上を図った。作業面においては、安全面に考慮した衛生管理を徹底し、手洗い、消毒、適正な処理など、特に食中毒の事故防止に努めた。

【清掃部】（外部請負部門）

令和7年度も白老町より委託業務を請け白老町立総合保健福祉センター（いきいき4・6）の日常清掃業務の活動を実施した。地域住民が日常的に利用する公共施設内で行う業務であるため、地域との繋がりを大切に、評価や信用性を第一に意識するなど、業務上における事故防止などの安全に配慮し、日常業務に努めた。また、業務を通じて利用者一人ひとりが社会性や自立心を養い、作業技術の向上を図る事ができるよう、月一回の清掃会議を行い、日常的な支援を実施した。

1) 利用者支援

利用者主体の就労現場を意識し、利用者個人が就労意識や自立心を高め、就労活動を通じて社会性を養っていけるような環境づくりに努めました。就労活動において、個人が抱える問題や悩み、また課題を明確にし、利用者一人ひとりが想いを主張し、目的に則した形で活動を行っていけるように、定期的に利用者会議を行うなど、個人目標を立ててもらい活動を行ってきた。個別の支援では一人ひとりの障がい特性を理解し、得意とする作業内容を選定し技術の習得と向上に努めました。技術の習得や成長には個人差は見られますが、社会性及び作業性共に個々の成長が見受けられた。

令和7年度についても、更に利用者の主体性を高め、同時に作業意欲の向上を目指していくため、利用者個々の特性に合った活動を提供し、必要に応じて職員がサポートを行った。就労学習会では、食事マナーや活動の振り返りと、視察研修（旭川・帯広方面の生産工場やパン・菓子店の見学）を企画し、社会性や就労意識の向上に繋げた。

2) 衛生保持、危機管理

食品を取り扱う部署としての意識を高めるため、日常的に必要な情報、知識等を適宜周知し食中毒や異物混入の防止に努めた。また安全な食品提供を行うため、作業場内の衛生保持や白衣の点検等に努めた。

危機管理においては、基本的に危険な機器を扱う部署でもあるため、機械の使用については職員の許可がある者に限定すると共に、取り扱いの注意を随時促すなど予測できる危険、事故については日常的に職員が目配り事故防止に努めた。

3) 設備整備

パン工場：プレハブ冷蔵庫ユニット交換、6枚出しガス式オープン（馬主協会助成）、ドウコン
ななかまど：冷蔵ショーケース、スライサー

Ⅲ、生活介護事業

利用者一人一人の障がい特性を把握し、それに基づいた「個別支援」を課題に、多様なニーズに応じた活動の提供と、関係性を考慮した環境を構築し、安定した日常生活が送れるよう支援を行った。日中は大型モニターやプロジェクターを使用し、BGM や映像を流し、穏やかに過ごしてもらえるよう環境を整えた。軽運動（電動ウォーカー、エアロバイク等）の実施や、リズム体操を企画し、身体に残存能力と体力維持に努めた。「塗り絵」を実施し、好きな絵柄を「自己選択」できるよう種類を取り揃えた。「手芸」によるぬいぐるみ制作や編み物は、集中力や手先の運動、達成感を得られる活動を目指した。

生産活動では、自家焙煎珈琲や野草茶製造作業、フードバックラベル貼りの下請け作業を、過度な負担とならないよう実施した。

季節に応じた創作・外出活動を企画・実施し、作業意欲の維持や向上、気分転換を図り、安心して活動が行えるように支援をした。

日高胆振地方会が主催する「バリアフリー交流会」に参加し、他法人との交流を深める機会とし、有意義な時間を過ごすことが出来た。

医療体制では、ポプリ専従の看護師を 2 名体制で配置。1 月に看護師が 1 名退職したが、利用者の健康管理や安全面、口腔内ケアの実施、緊急時の対応に配慮し、安心・安全に日中活動が送れるように支援をした。

【生産活動】

■自家焙煎珈琲

令和 7 年度は、国立博物館ウポポイ（民族共生象徴空間）「Sweets café ななかまどイレンカ」、みらいえ「Gelateria Mina Pieno」等、安定したお客様の購買状況が見られた。また、「ななかまど」に自家焙煎珈琲マシンを設置し、顧客に自家焙煎珈琲を知ってもらう機会を創出した。固定顧客の「えましあ」「白老ガス」「MIYABI」「北海道応援トドック」等を含めて定期的な注文の受注を行った。近年の世界情勢から安定して珈琲豆を提供する事は出来なかったが、収益に関しては、総額約 240 万円の売上を計上した。

■野草茶

令和 7 年度は、国立博物館ウポポイ（民族共生象徴空間）「Sweets café ななかまどイレンカ」、「白老町インフォメーションセンター」等、安定したお客様の購買状況が見られた。また、野草茶の原材料であるクマササについては、近年の獣害や暑さによる弊害から、少量の採取に努め、次年度からは既製品を購入し対応していく事になった。エントについては 6 月に白老町川沿の土地に種を蒔き、11 月に約 8 kg を収穫した。収益に関しては、総額約 60 万円の売上を計上した。

■フードバックラベル貼り作業

ダイエツクックより、安定したラベル貼り作業の依頼があり、同法人施設「みらいえ」と作業を分担して行った。令和 7 年度は 809,647 円の売上を計上した。

■印刷作業

名刺作成作業では、法人内・役場・町内民間業者・札幌視覚支援学校等を中心に注文を受けた。点字の名刺が多岐にわたって定着してきたものと思われる。令和 7 年度は、年間を通して名刺の受注があり、59,011 円の売上を計上した。

以上、令和7年度の事業収入は4,723,276円となり、昨年度収入3,563,598円と比較して1,159,678円の増収となった。月額平均工賃9,171円を支給することが出来た。

【創作活動・療育活動・外出活動】

創作活動では「5月企画」「6月企画」「七夕企画」「ハロウィン企画」「2月企画」「3月企画」等、季節に合わせて活動を実施した。月々の活動で創作された作品を館内で展示する事で、創作意欲の向上に繋げることが出来た。9月に行われた「みんなあーと2025」に作品を応募し、多数の作品が入選した。生活介護事業における新たな取り組みとして、アート活動の知見を広げるため、先進地視察研修(株式会社ヘラルボニー、社会福祉法人光林会「るんびにい美術館」、岩手県障がい者芸術活動支援センター「かだあると」)を行った。

料理教室は4班に分かれて行い、嗜好調査からメニューを決定し、役割を分担して調理を実施した。料理を囲んでの食事会では笑顔が多く、会話が弾む様子が見られた。

軽運動(エアロバイク・電動ウォーカー)を行う事で、健康維持や代謝向上に努めた。プール活動は、5月～10月まで実施した。水中歩行やビート板を使用した泳法を行い、身体機能の維持・向上に繋げた他、ボール遊びやビーチバレーを取り入れ、気分転換を図り笑顔が多く見られる様になった。活動時は感染症予防対策の為、マスクの着用や手指の消毒、検温を実施し、安全対策を講じながら行った。

カラオケは3班に分かれてポプリ2階食堂で実施した。歌う事で情緒の安定や気分転換にも繋がり、充実を図ることが出来た。

日中生活を送る中で、心と身体の安定を図る為、光や音の感覚を重視した空間を設置した「スノーズレン」を毎週末に、30分程度実施した。心休まる時間を過ごす事で情緒が安定し、問題行動が減少して穏やかな様子が見られる様になった。

外出活動は、「水芭蕉見学」「花見」を企画し実施した。自然や文化を感じる事で、感性や感受性を育むことが出来た。「日帰り旅行」については、職員が個々のニーズを汲み取り、利用者の「意思決定」支援から、札幌ビール博物館、札幌青少年科学館見学を実施した。行事に参加する事で情緒の安定や気分転換に繋げることが出来た。

IV、日常生活支援

・基本的な社会生活(挨拶・返事・マナー・ルール)の確立

日中活動を通じて社会的なマナーや身だしなみなどについて各部署にて必要な情報を提供し、利用者自ら問題を提起し話し合いが出来るよう支援した。

・自治会活動への支援

令和7年度は、毎月1回の誕生会と全体会を実施し、利用者一人ひとりが活気を持って日々の活動に取り組めるよう支援を行った。また、成人を迎えられた利用者にお祝いの会を開き、法人から記念品が贈呈された。さらに日頃の頑張りを評価する仕組みとして月間表彰を行い、利用者のモチベーション向上に繋げた。また、ポプリ開設25周年記念としてポプリ裏駐車場にてイベントを開催。地域の方々や利用者、保護者を招いて模擬店や生活介護によるステージ発表を行い、笑顔あふれるひとときを共に楽しめる催しとなった。

<事業動向>

日程	内容
4 月	水芭蕉見学（生活介護） 生活・就労：工賃期末手当
5 月	GW 営業（ななかまど・イレンカ） 桜見学（生活介護） よもぎ採取
6 月	ポプリ仲間の会総会 津波を想定した防災訓練：ポプリ・ななかまど ポプリ 25 周年記念事業就労学習会：パン工場給食部合同 in 旭川 1 班
7 月	オンブズマン来所 ななかまど夏フェア ウポボイ周年記念ウィーク ポプリ 25 周年記念事業就労学習会：パン工場ななかまど合同 in 北広島 2 班 健康診断
8 月	チャレンジドカップ本選参加「オリジナル角食」：審査員特別賞を受賞 屋外給食：流しそうめん 就労：工賃夏期手当
9 月	火災を想定した避難訓練：ポプリ・ななかまど 生活介護：みんなアート出展 口腔内ケア
10 月	ポプリ 25 周年記念事業：生活介護日帰り旅行 in 札幌 ななかまど周年記念感謝祭 インフルエンザ予防接種 屋外給食：BBQ 玄関先に不審者が入ってきた事を想定した防犯訓練：ポプリ・ななかまど 日胆地方会スポーツ交流参加
11 月	ウポボイ無料開放 day お歳暮餅商戦
12 月	就労学習会：パン工場給食部合同、ななかまど清掃部合同 年末餅事業 生活介護：クリスマス忘年会 生活・就労：工賃冬期手当
1 月	ななかまど初売り 就労学習会：ななかまど清掃部合同
2 月	就労学習会：パン工場給食部合同
3 月	火災を想定した避難訓練：ポプリ・ななかまど 保健所による食品衛生講習会（利用者向け） 棚卸
自治会 活動	・自治会活動については、利用者が中心となり各種事業を円滑に進められるよう バックアップを行った。 <主な活動> ・毎月一回誕生会と全体会 ・月間表彰の実施。

V、健康管理

年1回の健康診断を実施した。その他、食後の歯磨き習慣、毎月の体重測定などを行った。健康診断については、検査結果により、本人、保護者、家族、又GH利用者は看護師や地域支援センターあぷろと連携しながら必要に応じて再検査や受診を勧めるなどの支援を行った。

インフルエンザ対策（予防接種・室内の保湿）やノロウイルスをはじめとする感染症等の防止策として、マスクの着用や手洗い・手指消毒の励行、毎日の検温、次亜塩素酸水やアルコールによる消毒を行った。

まん延防止措置として白老町と連携し、利用者、職員がコロナワクチン接種を任意で行った。

その他では、ポプリ看護師によるバイタルチェックや口腔内ケアを実施し、健康状態の把握や健康に対する意識向上を図った他、苫小牧保健所の職員を招き、利用者向けに食品衛生についての講習会を実施し、意識向上に努めた。

VI、給食業務

安心、安全な給食提供に配慮し実施しました。利用者への嗜好調査などを実施し、出来る限り要望にこたえ、季節感のある食事や行事食などの工夫を行った。

給食製造は食品事業給食事業部への作業委託とし、利用者2～3名に対し職員2名～3名の体制で技術支援を行いながら進めた。

その他、特別給食として流しそうめん、BBQを提供した。

VII、管理業務

日常業務では、業務効率、安定した事業運営のための研鑽を行いながら事務処理の適正化を目指し業務を遂行してきた。法人内部研修（事務部会）を重ねて事業所相互の協力と連携をはかり、様々な課題提起とスムーズな問題解決に繋がるよう取り組んだ。

施設管理では、10月のWindows10のサポート終了に備え、前年度より段階的に入れ替えを行い、今年度は4台更新。共有サーバーも更新時期を迎えたので入れ替えを行った。

営繕として大きなところでは、西側灯油タンクの更新、てとての分電盤工事とエアコン設置、就労事業の再編成に伴う電気工事等を行った。

研修関係では、生活介護事業における新たな取り組みの知見を広げるため、先進地視察研修（岩手県）を行った。オンラインでの強度行動障害実践研修や事務研修等を受講し、職員のスキルアップに繋げた。

衛生・健康管理面では、毎日朝・夕方の館内消毒（トイレ、共用部分を中心に）を継続し感染症、食中毒防止に心がけた。冬季のインフルエンザ流行時期を前に集団予防接種（任意）、ノロウイルスはじめ感染症の予防強化、加湿器による活動室の湿度保持と換気などの工夫を含め、施設内での感染防止に力を入れて行った。

防災・危機管理に関しては、津波を想定しての避難訓練を実施し利用者誘導の際の注意点や問題点を確認し、災害時の安全確保・心得、避難時の感染対策など学習する機会を持った。

実際に7月に津波警報が出された際は、訓練等の成果もあり、迅速に非難することができたが新たな課題も確認した。備蓄品の確認を法人防災の日に合わせて行った。

苦情解決・権利擁護虐待防止委員会に関しては、法人内において定例会を開催し、情報共有や研鑽を深めた。日頃より些細な利用者間のトラブルや悩み、家族の相談などに対し職員が都度時間をおかず直接対応し調整・解決すること、フォローアップを継続して行うことで、日常の相談等はあったものの、苦情としての取り扱いはなかった。

実習等に関しては、高等養護学校の卒後を見越した実習や中学校の職場体験、行政からの紹介による医療機関退院後の相談を受けた。日中一時支援事業の利用受入はなかった。

特定技能外国人職員への対応

- ・育成環境

資格取得に向けた勉強会の実施。

実務者研修の実施と国家試験受験資格取得。

タブレット端末の支給。

業務中の勉強時間の確保。

- ・住居

新たな受け入れ準備（令和 8 年度 2 名採用に向けて）

分電盤の入れ替え（電気容量増加のため）

居室エアコンの設置。

VIII 利用関係状況報告

就 労 活 動 収 支	就労事業収入	96,041,652 円	(就労B 91,318,376 円 + 生活介護 4,723,276 円)			
	その他収入	・積立金取崩 7,766,800 円	・助成金 1,300,000 円	・雑収益 3,000 円	・寄付金 20,000 円	・定期預金利息 15,352 円
	就労事業支出	95,259,178 円	(就労B 90,601,023 円 + 生活介護 4,658,155 円)			
	その他支出	・固定資産取得支出 8,566,800 円	・当年度 積立金 729,771 円	・拠点区分間繰入 591,055 円		
利用者工賃実績	総支給額	22,652,895 円	(就労B 19,791,415 円 + 生活介護 2,861,480 円)			
	(※前年度総支給額	22,588,006 円)				
	就労B事業	月額平均額 1名 50,747 円	生活介護事業	月額平均額 1名 9,171 円		

<定員構成>

*8年3月31日現在

	定員	契約数	男	女	入所者	退所者	備考
生活介護	20	26	16	10	1	1	・入所：松田(サービス変更) 退所：萩原
就労継続支援B	40	45	35	10	0	2	・退所：横丁、南川(サービス変更)
合計	60	71	51	20	1	3	

<年齢構成>

	10代	20代	30代	40代	50代	60歳以上
生活介護	0	5	7	5	5	4
就労B	0	8	9	12	16	0
合計	0	13	16	17	21	4
最高齢者 76歳 / 最年少者 20歳 / 平均 43.0歳						

<在籍年数>

入所年度	7	6	5	4	3	2	1	30	29	28	27	26	25	24
生活介護	0	0	0	1	0	0	1	0	3	0	2	3	1	1
就労B	0	1	2	1	0	1	2	0	1	2	1	0	2	0
合計	0	1	2	2	0	1	3	0	4	2	3	3	3	1

入所年度	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12
生活介護	0	2	1	1	0	2	1	0	0	0	2	5
就労B	2	1	3	0	1	0	1	2	1	1	10	10
合計	2	3	4	1	1	2	2	2	1	1	12	15

平均
生活介護 15年 9か月
就労B 17年 9か月

<障害区分>

療育手帳	A	B	なし	精神	身障
生活介護	16	9	1	(2)	(5)
就労B	10	34	1	(1)	(3)
合計	26	43	2	(3)	(8)

区分	2	3	4	5	6
生活介護	0	2	10	7	7
就労B					
合計	0	2	10	7	7

<居住別>

	自宅	GH
生活介護	11	15
就労B	19	26
合計	30	41

生活介護平均区分 4.69

<出身地別>

	白老町	登別市	苫小牧	札幌市	室蘭市	千歳市	江別市	伊達市	三笠市	浦河町
生活介護	13	1	9	0	1	0	1	0	1	0
就労B	23	5	8	1	4	1	1	1	0	1
合計	36	6	17	1	5	1	2	1	1	1

71

令和 7 年度の動向

	施設業務関係	就労 B・生活介護事業関係	研修・行事他
4 月	辞令交付式・永年勤続表彰 仲間の会歓迎会 各種会議 (支援会議、職員会議、ケース会議、 部署会議、運営会議、管理者会議) 会計事務所任意監査	利用者工賃 6 年度期末手当 生) カラオケ・療育、創作活動・水芭蕉見学 就) 期末手当支給	利用者全体会 利用者誕生会
5 月	法人幹事監査 決算理事会 各種会議	生) カラオケ・プール・療育、創作活動 料理教室・桜見学 就) GW 営業・よもぎ採取・ テレビ取材	利用者全体会 利用者誕生会
6 月	理事会・評議員会 各種会議 消防設備点検 防災訓練	生) カラオケ・プール・ 療育、創作活動・料理教室 就) 就労学習会 カシス製品試作試食会	仲間の会総会 利用者全体会 利用者誕生会 先進地視察研修(岩手) 就労支援部会全国大会
7 月	健康診断 各種会議 会計事務所任意監査 オンブズマン来所	生) カラオケ・プール・療育、創作活動 料理教室 就) 就労学習会 ななかまど夏フェア ウボボイ周年記念ウィーク	利用者全体会 利用者誕生会 ポブリ 25 周年記念事業
8 月	夏期休業 各種会議 防災訓練(津波想定)	利用者工賃夏期手当 生) カラオケ・プール・療育、創作活動 就) チャレンジドカップ参加・苫民取材 食品衛生協会巡回・伊達高体験受け入れ	利用者全体会 利用者誕生会 権利擁護指導者研修 野外給食(流しそうめん)
9 月	法人幹事監査・理事会 各種会議 サービス調整会議・モニタリング 会計事務所任意監査 避難訓練	みんなあーと出展 生) カラオケ・プール・ 療育、創作活動 就) ウボボイプロポーズ 白中体験受け入れ・ 八幡神社祭典 販売	利用者全体会 利用者誕生会 利用者防災研修参加 BCP 運用研修

10 月	各種会議 防犯訓練 馬主協会助成金贈呈式参加 電気設備点検 インフルエンザ予防接種	生) カラオケ・プール・療育、創作活動・ 料理教室 日帰り旅行・ハロウィン企画 就) ななかまど感謝祭 ハロウィンフェア	利用者全体会 利用者誕生会 日胆地方会交流会参加 防災対策研修会 野外給食 (BBQ)
11 月	法人幹事監査 各種会議 会計事務所任意監査 商工会優良従業員表彰	生) カラオケ・療育、創作活動・ 料理教室・秋企画 (焼き芋) 就) お歳暮餅受注開始 ウポボイ無料開放日 プレハブ冷凍庫ユニット交換	利用者全体会 利用者誕生会 日高・胆振地方会支援研合宿研修 権利擁護伝達研修講師: 松野係長 法人内研修 (感染症予防・ハラスメント) 強度行動障害実践研修 全国福祉職員研究大会 (福島: 岡本)
12 月	冬期休業 法人幹事監査 理事会 各種会議 消防設備点検	利用者工賃冬期手当 生) クリスマス忘年会・カラオケ 療育、創作活動 就) ななかまどクリスマスフェア・お歳暮 年越し餅販売・就労学習会	利用者全体会 利用者誕生会 沖縄フードシステムズ研修
1 月	冬期休業 各種会議 会計事務所任意監査 集団指導 (書面)	生) カラオケ・療育、創作活動・ 新年会、料理教室 就) ななかまど初売り・就労学習会	利用者全体会 利用者誕生会
2 月	各種会議 サービス調整会議・モニタリング	生) カラオケ・療育、創作活動 就) 就労学習会 ななかまどバレンタインフェア	仲間の会節分 利用者全体会 利用者誕生会
3 月	各種会議 三者面談 法人幹事監査・理事会 会計事務所任意監査 避難訓練 (火災想定)	生) カラオケ・創作活動、料理教室 就) 棚卸 チャリティ演芸大会販売 食品衛生講習会 保健所検査 ななかまど春爛漫フェア ウポボイ休館 (1 日～9 日)	利用者全体会 利用者誕生会
4 月		利用者工賃 7 年度期末手当	